

■ 第2回 読書会ざくざくを開催しました

7月2日「第2回 読書会ざくざく」を開催し、学生、教員、図書館地域アドバイザーの計21名が参加しました。読書会ざくざくは、前もって読んだテーマに関する本を、一人5〜10分程度で紹介し、参加者で意見交換するイベントです。第1回（昨年12月19日開催、22名参加）に続き、「地域における協力と地域の発展」をテーマに行い、今回は3名が本を紹介しました。

参加者は発表をきっかけに、地方の人口減少や商店の衰退、地域産業活性化への提言、また地方の大学のあり方など、様々な視点で意見を交わしました。「自分の就きたい職業において、地域にどう関わっていくべきかを考えた」など、参加者にとってはいつもの学習とは違った刺激になったようです。

■ データベース講習会開催のお知らせ

実際に操作しながら使い方をマスターできます。初心者の方も気軽にご参加ください。申込みは図書館カウンターまたはメール (library1@josai.ac.jp) へどうぞ。

薬学向け | メディカルオンライン講習会

9月28日 16:50~18:00 場所: 18号館103教室

医学関連分野の雑誌文献および和図書を検索、全文閲覧できるメディカルオンラインの講習会です。

就活向け | 日経テレコン講習会

10月21日 15:10~16:40 場所: 清光会館302室

業界・企業研究に役立つ「日経テレコン」と「日経BP記事検索サービス」の講習会です。

アドバイザー通信

7月より、新たに1名がアドバイザーに加わりました。



ほそだ しんのすけ
細田 伸之助 (薬学部薬学科 6年)

薬学部で学んだことを活かし、勉強の相談に対応できたいと思っています。お気軽にご相談ください。

得意分野 / 微生物学、免疫学

メールアドレス: libadv@josai.ac.jp

ツイッター: @lib_adv

7・8月の図書館集報

- 7/2 第2回読書会ざくざくを開催し、21名が参加しました。
- 7/7 図書館と県民のつどい埼玉2016実行委員会に参加しました。
- 7/7 日本医学図書館協会雑誌委員会・日本薬学図書館協議会雑誌問題検討委員会合同委員会に参加しました。
- 7/8 救急救命講習会に参加しました。
- 7/12 平成28年度 地域相互協力図書館 館長及び主務者の集いを開催しました。
- 7/21 坂戸市立図書館協議会に出席しました。
- 8/10 埼玉県大学・短期大学図書館協議会(SALA)の幹事会に参加しました。
- 8/11 日高市立図書館ビブリオバトルに本学経営学部4年奥富さんが出場しました。
- 8/31 防災訓練を行いました。
- オープンキャンパス 合計566名が図書館を見学しました。オープンキャンパス向けキーワードラリーへの参加は230名でした。(7/17・24、8/11・21・28)
- 見学 坂戸市立千代田中学校 20名(8/6) ひらめき・ときめきサイエンス参加者 26名(8/7)

読書会ざくざく当日の様子



第2回(図書館グループ学習室6B)



第1回(北坂戸にぎわいサロン)

9・10月開館予定

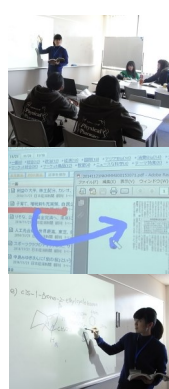
2016年9月							2016年10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3							1
4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
25	26	27	28	29	30		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

□=9:00~21:00
 ■=9:00~19:00 ■=9:00~17:00 ■=休館日
 ●=講習会(左記) *9/25は全学停電のため休館します。

知って得する! 図書館活用術

Q 図書館でプレゼンテーションの練習ができる場所はありますか?

A グループ学習室、視聴覚室を活用してください♪ 3階に1部屋、6階に4部屋、グループで使える学習室があります。6階B室には「電子黒板(写真)」を備えています。専用の電子ペンで、ボードに投影した資料の拡大や移動、書き込みができるツールです。授業では、2階視聴覚室も利用できます。



発行: 城西大学水田記念図書館

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1

TEL: 049-271-7736

FAX: 049-286-8126

mail: library1@josai.ac.jp

URL: http://libopac.josai.ac.jp/

TwitterID @lib_josai

図書館ツイッターの

QRコードはこちら→



Vol.95 BookMark 2016 9・10

合併号

“ユルい本”じゃなかった“ゆるほん”に感嘆

スポーツ健康センター事務長 加藤 寛之

明るくて楽しみを発見できる場所、最近の図書館は公立にしても本学にしても、そんな気持ちがあふれているみたいに思います。「たくさんの人に、来て利用してほしい」という姿勢が明るさを生み出しているようで、私には今のような図書館がなじめます。私の仕事の健康市民大学受講生も、毎日のように利用しているようです。

“図書館って、どんな感じで活用されているのかな?” そんなことで、第9回ライブラリーラウンジとして開かれた6月24日の「ゆるほん」を、ユルリとレポートします。

「ゆるほん」のお誘いチラシを見ると「ひとりじゃない読書への誘いゆるくほんで おしゃべり、しませんか?」という、ユルユルの表題です。学生アドバイザーの企画運営ということで、“私も参加するんで、取材させて”との交渉が無事、成立しました。

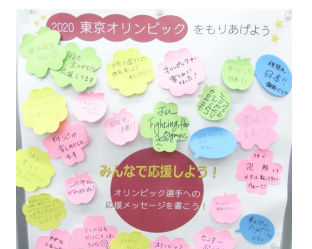
当日は参加者16名。一般学生+学生アドバイザー+健康市民大学受講生+取材の私です。開会は学生アドバイザーから、“一人3分間くらい、本をゆるく紹介してください。自由に本の話で会話してほしいんです” “今日参加していただいた皆さん、互いに知らないと思います。本は一人で読むのもいいんですけど、読むだけでなく、知らない人と本を紹介しあうことでコミュニケーションを図ってみようという企画です”と説明。3グループに分かれて、自己紹介と自分が話したい本の説明と推薦が始まりました。すぐに始まったのはよいのですが、私のグループはというと、驚いたのは私。“皆、なんてカタイ本なんだ!こんなにマジメに本を読んでいるなんて!”。よくよく今日の企画を読み直せば、ゆるく本を紹介するのであって、ユルい本を紹介するんじゃないんだ・・・、ああ誤解でした。企画側としては自由な本選びの趣旨があったとは思いますが、参加した人たちの純粋な姿勢には感嘆です。“こんなステキな学生がいるんだ、教えてくれてありがとうね”と、私は心のなかで感謝です。あとはワイワイガヤガヤで、予定した時間はアツという間に過ぎました。最後に持ち寄った本を紙に書いて貼りだしました。

私は取材兼参加者だったのですが、“ああ、学校ってイイなあ”と思う時間を味わいました。一般学生だとか社会人だとかの境界は、いつのまにか、どこかへ消えてしまいました。

「ゆるほん」は、もっともっと、たくさんの人たちに体験してほしい時間でした。このレポートを読んでくださった、あなた、ぜひ次回に参加をおススメします。

今月の特集

図書館で、オリンピック・パラリンピックを応援しよう!



今年の知的書評合戦ビブリオバトルも熱く!



Information

「読書会ざくざく」開催報告



薬学向け講習会、就活向け講習会開催のお知らせ
 学生アドバイザー通信 ほか

図書館は、オリンピック・パラリンピックを応援しています！

こんなことも
図書館で探してみよう

Q. 出場者の記事を探したい！

雑誌や新聞の記事を最新号から過去のものまで、パソコンで簡単に検索・閲覧できる専用データベースがあります。

<データベース一例>

- ・朝日新聞…聞蔵IIビジュアル
- ・日本経済新聞…日経テレコン
- ・日経ビジネスなど
- …日経BP記事検索サービス
- ・週刊東洋経済など
- …東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー (くわしくはカウンターへ)

Q. スポーツに関する

図書はどこ？

主に2階の780番の棚にあります。さらに陸上競技は782、球技は783と競技ごとにまとまっています。背ラベルの請求記号で確認しましょう。→

782
G17

Q. オリンピックに対する

国の政策を知りたい

たとえば『文部科学白書』の平成26年度版には「オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツ政策とレガシーの創出」という特集があります。こうした白書・統計類(1階に配架)や図書、雑誌・新聞の記事などを交えて考察しましょう。

城西大学は東京オリンピックの招致に貢献し、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会」と連携協定を結んでいます。



図書館内には、「東京2020オリンピック・パラリンピック 学生×みんなの輝き、つなげていこう。」キャンペーン(期間:2016年7月1~15日)に投稿できる大会エンブレムを設置しました。投稿写真は、組織委員会ウェブサイトの大学連携ページ(活動報告)で見られます。
<https://tokyo2020.jp/jp/get-involved/university/>



リオ(2016) & 東京(2020)大会を応援する館内展示を行いました。

城西大学からの出場者(現役、卒業生)に関する記事などを展示。そのほかオリンピック関連書籍やスポーツに関する資料を紹介し、図書館からもオリンピックを盛り上げていきます!! 展示は東京大会まで定期的に行う予定です。



10月にはスポーツをテーマにしたライブラリーラウンジを予定しています♪

スポーツ好きな学生を集めて、関連図書や雑誌、AV資料などをきっかけに、フリーディスカッションを行います!

図書館学生アドバイザー主催



図書館ホームページで「城西大学Sports」の電子版を読めます!

「城西大学機関リポジトリJURA」に第1号より掲載。JURAは本学の研究・教育成果を電子的に管理し保存・発信する、誰でも無料で利用可能なインターネット上の「保存書庫」です。

城西のスポーツを応援しよう!



リオ大会の日本代表に選ばれました! 現役城西生・佐藤拳太郎さん(経営学部4年 1600Mリレー) 卒業生・村山紘太選手(10000M, 5000M)


2020 東京オリンピック をもりあげよう! 頑張れ日本!! 城西大学の誇りです!

みんなで応援しよう! オリンピック選手への応援メッセージを書こう!

館内に設置したメッセージボードには、たくさんの応援コメントが寄せられました!



リオ大会の期間中(8/5~21)、図書館玄関フロアのモニターでは、皆さんが応援できるようなオリンピックのテレビ放送を流しました。



今年も開催します! 知的書評合戦ビブリオバトル

2016年度 知的書評合戦 **ビブリオバトル**

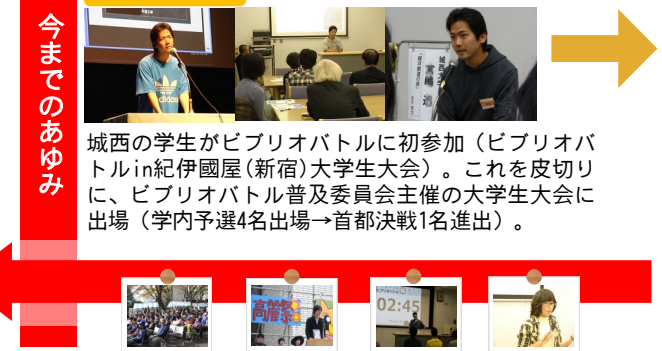
観戦者募集! 当日は図書館へGO! (申し込み不要)

10月7日(金)15:30 全国大学ビブリオバトル予選会

11月(高麗祭にて) 学部・ゼミ・研究室対抗戦

2011年度

城西の学生がビブリオバトルに初参加(ビブリオバトルin紀伊國屋(新宿)大学生大会)。これを皮切りに、ビブリオバトル普及委員会主催の大学生大会に出場(学内予選4名出場→首都決戦1名進出)。



2012年度

学内予選5名出場→首都決戦(地区決戦)1名進出。

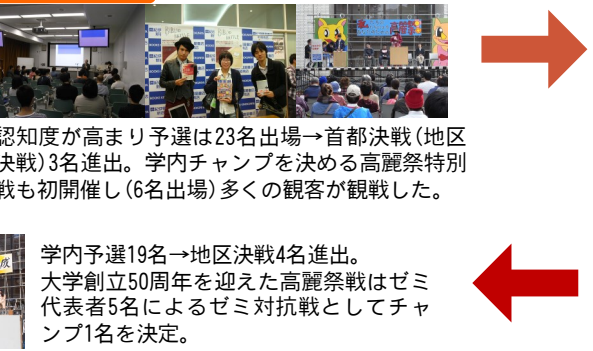
2015年度

学内予選19名→地区決戦4名進出。大学創立50周年を迎えた高麗祭戦はゼミ代表者5名によるゼミ対抗戦としてチャンプ1名を決定。



2013年度

認知度が高まり予選は23名出場→首都決戦(地区決戦)3名進出。学内チャンプを決める高麗祭特別戦も初開催し(6名出場)多くの観客が観戦した。



2014年度

全国大学ビブリオバトルがスタート。学内予選19名→地区決戦4名進出…勝ち抜いた1名が、京都大学時計台ホールで開催された京都決戦(全国準決勝)に出場!! 高麗祭戦は6名が出場。



今までのあゆみ